



[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2001年10月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 副会長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:info@nippon-taiko.or.jp

会報

4000人の観客の中から「ありがとう」の声

～第5回日本太鼓全国フェスティバルを北九州市で開催～



(オープニング演奏の小倉祇園太鼓)

「未来・創造・伝統・世界の響き」をテーマにした日本財団助成による第5回日本太鼓全国フェスティバルが、9月2日(日)に福岡県北九州市の北九州メディアドームで4000人の観客を集めて盛大に開催されました。

今回は、当財団主催、全九州太鼓連合、福岡県支部が主管となり、文化庁のほか、地元の福岡県、北九州市などの後援をいただき、「北九州博覧祭」に併せて行いました。

当日は朝から快晴に恵まれ、観客の出足も好調で、早くから多くの観客で埋まりました。観客が見守るなか、地元の小倉祇園太鼓によるオープニング演奏が始まりました。伝統と格式を誇る小倉祇園太鼓の演奏は、これから始まる38チームの太鼓の熱演を期待させるほどの盛り上がりを見せ、観客のざわつきは歓声へと変わりました。

歓声がおさまったところで、主催者側を代表して当財団の津田会長、主管者を代表して北九州太鼓連合の長谷川会長の挨拶があり、続いて、福岡県知事麻生渡氏(長澤純一副知事代読)、北九州市市長末吉興一氏よりそれぞれご祝辞をいただき、いよいよ第一部の開演となりました。

各地を代表する太鼓チームによる熱演が相次ぎ、6時間もの長丁場にもかかわらず、食事も忘れて熱心に聞き入る観客の姿も見受けられました。

今回は、特別ゲストとしてサンフランシスコ太鼓道場(田中誠一代表以下9名)をアメリカから迎えました。塩見副会長より、チーム並びにメンバーの紹介と、田中誠一氏がアメリカにおいて日本太鼓の普及と指導に尽力された功績により当財団1級公認指導員に認定された経緯が説明されました。そして観客の拍手が鳴り響くなか、津田会長より認定証並びに認定バッジが授与されました。

プログラムも順調に進み、参加39団体のラストを飾るのは、鹿児島県太鼓連合合同チーム総勢70名による合同演奏でした。舞台狭しと太鼓が並び、その演奏は言語に尽くせないほどの迫力でした。

フィナーレは、役員並びに各出演団体が舞台に上がり、小田福岡県支部長の手締めで飾りました。最後に、観客から「ありがとう」との感謝の声が聞かれ、本大会の盛況振りは、その一言に集約されていたものと実感しています。このような声が聞かれたのも、全九州太鼓連合、福岡県支部をはじめとする関係各位のご協力のお陰と感謝いたしております。皆様に心からお礼を申し上げます。



(開場を待つ観客の列)

第5回日本太鼓全国フェスティバルを終えて 実行副委員長 小田 幸久 (福岡県支部長)

早秋、すがすがしい早朝に目覚めた2001年9月2日。(財)日本太鼓連盟主催による第5回日本太鼓全国フェスティバルの開催当日、福岡県支部の会員一同は、不安と期待のなか、会場に集まりました。福岡県支部の方々は、当日の駐車場、会場内外の準備、受付、来客の受け入れ準備、そして開場時間までの慌しさを覚えていることでしょう。ですが、私自身は、大きな感動と感謝を覚えております。それは、開演を待ちわびた人々で長蛇の列が出来、集客人数4000人もの皆様に来ていただけたことです。また、会員が持ち場に追われ全体図が見えない状況下、主催者の(財)日本太鼓連盟、実行委員会であります全九州太鼓連合の皆様的確な指示のもと、演奏は順調に進み、最後まで大きな事故も無く、無事に終了することが出来ましたこと。これほどまでの、皆様の温かい心とご協力に感謝を申し上げます。そして、このフェスティバルに出演、ご協力下さった、各都府県の代表団体の皆様にも心よりお礼申し上げます。

フェスティバルが終了した後も、身に余るほどの、お礼の電話、お手紙をいただき、ほんとうにありがとうございました。今、振り返ると長谷川実行委員長のご挨拶のなかにありました、「温故知新」の言葉が身にしみます。

チームの皆様には、最後まで残っていただき、お客様の中から「良かったぞ」という有り難い言葉を頂戴いたしました。この一言が本フェスティバル、全てを物語っていると私は確信しております。



(サンフランシスコ太鼓道場の演奏)

最後に、この場をお借りいたしまして、フェスティバル関係者各位の皆様方に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

第5回日本太鼓フェスティバル ビデオ販売のお知らせ

第5回日本太鼓全国フェスティバルのビデオを販売いたします。購入希望の方は財団事務局までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先 (財)日本太鼓連盟事務局
Tel. 03-6229-5577
Fax. 03-6229-5580



(田中氏への認定証授与)

<出演団体>

●福岡県（5団体）

小倉祇園太鼓、福岡県太鼓連合合同チーム、川筋太鼓保存会樂鼓座、飛龍八幡太鼓、龍太鼓山田野武士

●県外（33団体）

御神乘太鼓保存会（石川）、愛宕陣太鼓連響風組（福島）、鬼怒麗人太鼓（栃木）、天馬太鼓（埼玉）、諏訪保育園すわん子太鼓（長崎）、金沢百萬石太鼓（石川）、人吉ねぶか太鼓（熊本）、和太鼓葉隠（佐賀）、しらみず太鼓（岐阜）、三協やまびこ太鼓（長野）、小城太鼓（佐賀）、山梨県太鼓連盟合同チーム山響（山梨県）、石州浜田太鼓団（島根）、天孫降臨霧島九面太鼓（鹿児島）、高野右吉と秩父社中（埼玉）、銚子はね太鼓保存会（千葉）、福光もちつき太鼓（富山）、橘太鼓響座（宮崎）、おおむら太鼓連くじら太鼓（長崎）、小城太鼓小天狗（佐賀）、手取亢龍若鮎組（石川）、ゆふいん源流少年隊（大分）、富岳太鼓（静岡）、下関平家太鼓保存会勝山会（山口）、和太鼓流水舞（東京）、龍潮太鼓「鼓衆」（宮崎）、長崎県太鼓連合合同チーム（長崎）、大和の響き「京」（京都）、豊前乃国ほんやばけい禪海太鼓（大分）、都城おかげ祭り振興会（宮崎）、山鹿太鼓保存会（熊本）、豊の國ゆふいん源流太鼓（大分）、鹿児島県太鼓連合合同チーム（鹿児島）

●海外（1団体）

サンフランシスコ太鼓道場（米国）

サンフランシスコ太鼓道場 田中誠一氏「米国版重要無形文化財」保持者に ～G.W.ブッシュ大統領よりお祝いのことば～

アメリカで34年にわたり日本太鼓の普及と指導に尽力されたサンフランシスコ太鼓道場代表田中誠一氏が、「2001 National Heritage Fellowships」の受賞者に選ばれました。これは、米国版重要無形文化財の保持者として認定されたもので、9月19日に首都ワシントンで授賞式が行われました。田中氏より受賞の喜びと、授賞式に先立って行われた「日米講和条約締結50周年記念式典」で太鼓を演奏した感想をいただいておりますので紹介させていただきます。

サンフランシスコ太鼓道場 代表 田中 誠一

この度は、北九州市における第5回日本太鼓全国フェスティバルにお招きいただきありがとうございました。また、私たちの演奏の冒頭、1級公認指導員の認定式まで行っていたり感謝申し上げます。道場の弟子たちにも大変教育的に意義深い訪日でした。39の出演グループの舞台をスムーズに進行させ、見事な運営をされた長谷川義会長以下の全九州太鼓連合をはじめとする関係者の方々のご尽力と大健闘を称えるとともに深く敬意を表します。

私たちは9月8日、日米講和条約締結50周年記念レセプションにて、日米の要人1,500名を前に日米代表として米国代表のピアニスト デイブ・ブルーベック・カルテットと共に演じ、日米友好、文化交流の大役を果たしました。しかし、その3日後に世界中を恐怖で震撼させたテロ事件が発生、国中が厳戒態勢で極度の緊張感と混乱の中、私と家族、道場メンバー3名はワシントンへ向かいました。ホワイトハウスにおいてブッシュ大統領から手渡される米国の芸術家の殿堂入りとも言われている重要無形文化財の授賞式に出席するためです。しかし、テロ事件の影響もあり、場所はホワイトハウスではなく、また、大統領もご臨席のないまま、



(授賞式)

式典、レセプション、コンサートはしめやかに執り行われました。

しかし、この1ヶ月は、34年間に及んだ米国生活の中で最も輝いた時期でした。それは、日米で各賞を受賞するという栄誉に浴することができたからです。これもひとえに小口大八先生をはじめとする諸先生方、また多くの太鼓関係者の皆様のご教尊、ご支援の賜物であります。また、アメリカ各地にいる太鼓仲間の努力のおかげと感謝し、お礼申し上げます。今後益々太鼓道に精進いたしたいと思います。

さて、昨年11月にカルフォルニア大学バークレー校内ゼラベック劇場で催された国際太鼓祭り、そして併催された日米太鼓サミット会議に(財)日本太鼓連盟が初めて参加されました。塩見副会長が出席され、アメリカにおける和太鼓のありのままの姿を見ていただいてから、ようやく(財)日本太鼓連盟もアメリカの太鼓に目を開いて下さったと感じております。今は世界に太鼓の輪が広がっております。和太鼓とは！日本太鼓連盟とは何か！というメッセージを世界に向かって発してください。

合掌。

田中誠一様、
2001 National
Heritage
Fellowship 受賞
おめでとうござ
います。

我々の国家は、
国民の歴史と多
様性を反映した
芸術遺産に誇り
を持っています。
祖先の伝統を受け
継ぐ芸術家た

ちは国の遺産として、将来のアメリカに芸術の活力を与えるでしょう。あなたの献身と努力を称えます。あなたの素晴らしい業績は国家の文化生活を豊かにし、優れた芸術を求める我々国民に感銘を与えるでしょう。

ご多幸をお祈りいたします。

ジョージ・W・ブッシュ

(ブッシュ大統領からのお祝い)

THE WHITE HOUSE
WASHINGTON

August 31, 2001

Mr. Seiichi Tanaka
Suite 201
1581 Webster Street
San Francisco, California 94115

Dear Mr. Tanaka:

Congratulations on receiving the 2001 National Heritage Fellowship from the National Endowment for the Arts.

Our Nation boasts a proud artistic heritage that reflects the history and traditions of our people. Artists who draw on the traditions of their ancestors add to this remarkable legacy and help to ensure the continued vitality of the arts in America. I commend you for your hard work and dedication in earning this outstanding recognition. Your unique achievements enhance the cultural life of our Nation and also inspire other individuals in their pursuit of artistic excellence.

Laura joins me in sending best wishes.

Sincerely,


George W. Bush

第9回ロサンゼルス太鼓祭り ～天邪鬼の演奏にスタンディングオベーション～

当財団では、2001年6月26日から7月3日まで、太鼓集団・天邪鬼(東京都支部)をアメリカ・ロサンゼルスに派遣しました。これは、日本太鼓チームを少しでも多くのアメリカの方に紹介するため「第9回ロサンゼルス太鼓祭り」での出演要請を受け、実現したものです。

この公演は日米太鼓交流を促し、海外拠点づくりを図るために、「太鼓ファンド」の主旨に則り、昨年11月のサンフランシスコに続きロサンゼルスのパサデュナシティーカレッジにて開催されました。出演団体は、日本から3チーム、アメリカからは5チームが集まりました。

太鼓集団・天邪鬼

代表 渡辺 洋一

29日コンサート当日、天邪鬼のリハーサルは正午から2時間行われました。リハーサルでは、早速、樽太鼓を打ってみました。最も心配だった樽太鼓の音質は想像していたよりも、はるかに良いものでした。皮の張り具合も申し分無く、音のヌケもそれほど悪くないものでした。ただ、打ち始めて30分程した頃から、皮と胴の部分から「ビビビビッ」と音が出るようになりました。これには大変とまどいましたが、すでに鉄打ちしてあるため、どうにもなりません。

また、客席から音を聞いてみると、やはり音の厚み、音の広がりが少なく、長胴太鼓との違いを感じます。

じずにはいられませんでした。観客にこの音を聞かせるのは私たちの本意ではありません。本来の和太鼓の音圧を感じてもらうには、やはり長胴太鼓しかありません。長胴太鼓を持ちこめなかったことは、非常に残念でした。

L.A祭り太鼓、光心太鼓、夢幻太鼓、沖田組は、日本の伝統をふまえて創作された曲を演奏しました。サンフランシスコ太鼓道場は、大和魂を感じさせるスケールの大きな曲を演奏しました。日本から参加した、八丈太鼓、炎太鼓、天邪鬼の演奏は、日本太鼓のあるべき姿を観客に伝えることができたでしょう。特に天邪鬼の演奏に至ってはスタンディングオベーション、私たちは最大級の賛辞を受けました。

常に私たちが海外公演で感じることは、観客の反応の良さです。奏者からすれば、大変気持ちの良いものであり、奏者自身のボルテージを最大限に上げることが出来ます。しかし、一方では初めて見聞きする日本文化の珍しさゆえの拍手であること、忘れてはなりません。

今回の太鼓コンサートは、ロサンゼルス祭太鼓・本郷悦男氏の大変な努力とサンフランシスコ太鼓道場・田中誠一氏の協力により、盛大で素晴らしい公演でした。

また、私たちにとってもアメリカの日本太鼓に対する意識を垣間見ることが出来、大変有意義なものでした。

第12回日本太鼓全国講習会のお知らせ

期 日 2001年11月24日(土)・25日(日)
会 場 三瓶青年の家(島根県大田市山口町山口)
主 催 財団法人日本太鼓連盟
主 管 財団法人日本太鼓連盟島根県支部
受講料 大人 10,000円(会員9,000円)
子供 5,000円(会員4,500円)
*高校生以上は大人になります。
参加費 宿泊する場合 一律5,000円
宿泊・食事4食・記念写真等
宿泊しない場合 一律2,200円
食事2食分・記念写真等
申込先 (財)日本太鼓連盟島根県支部
島根県飯石郡掛合町大字掛合1262-1
Tel. 0854-62-0300 Fax. 0854-62-0310

専門講座

御諏訪太鼓講座(複式複打)………小口 大八氏(長野県)
尾張新次郎太鼓講座(複式单打)…安井 富氏(愛知県)
大太鼓講座(单式单打)……………山内 強嗣氏(静岡県)

基本講座

3級基本講座 ………………松枝 明美氏(長野県)
4級基本講座 ………………安江 信寿氏(石川県)
5級基本講座 ………………古屋 邦夫氏(長野県)
羽土 聰氏(岐阜県)

振込先 掛合町郵便局 口座番号 15390-2239541
名義 (財)日本太鼓連盟島根県支部会計

千葉、京都で支部講習会を開催 ～4級、5級技術認定員233名を認定～

第7回日本太鼓支部講習会（千葉県）

第7回日本太鼓支部講習会が千葉県支部の主催により、7月14日（土）、7月15日（日）の両日、千葉県立東金青年の家において行われました。

4級、5級の基本講座が設けられ、関東地方を中心に161名の受講生が参加しました。講習会終了後、希望者による技術認定試験（学科、実技）が行われました。

○基本講座

4級基本講座 講師 松枝 明美氏
講師 安江 信寿氏

5級基本講座 講師 古屋 邦夫氏

○技術認定検定試験の結果は次の通りです。

4級検定	68名受験	68名認定
5級検定	93名受験	93名認定

第8回日本太鼓支部講習会（京都府）

第8回日本太鼓支部講習会が京都府支部の主催により、7月20日（金）、7月21日（土）の両日、京都府綾喜郡井出町山城勤労福祉社会館にて行われました。

4級、5級基本講座と笛講座が設けられ、72名の受講生が参加しました。講習会終了後、希望者による技術認定試験（学科、実技）が行われました。

○専門講座

笛講座 講師 菅原 成晃氏

○基本講座

4級基本講座 講師 松枝 明美氏
5級基本講座 講師 古屋 邦夫氏

○技術認定検定試験の結果は次の通りです。

4級検定	15名受験	15名認定
5級検定	57名受験	57名認定

2,188名が資格を取得

これまでの検定試験の結果、公認指導員、技術認定員の現在数は次のとおりです。

<公認指導員>

1級24名、2級72名、3級137名、総数233名。

<技術認定員>

1級5名、2級24名、3級156名、4級408名、5級1,362名、総数1,955名。

公認指導員と技術認定員の総数は、2,188名になりました。

日本太鼓支部講習会（京都府）に参加して

豊岡こうのとり太鼓 中嶋 麻衣（中学3年生）

とても楽しみにしていた京都での支部講習会が、7月20日から行われました。私の家は、兵庫県豊岡市というところで、兵庫県の北部に位置するため、当日は朝4時に起きて出発しました。でも、嬉しかったので全然眠くありませんでした。車の中では、チームのメンバー達と一緒にだったので、興奮して騒いでいました。会場に到着し、太鼓を運んだりするのを手伝いましたが、言わわれないと出来なかったので、今度からはすんで自分からやれるように努力したいと思いました。

私は、6月に長野県で行われた全国講習会で5級検定に合格したので、今回は4級基本講座に申込みました。講習が始まるとき、5級とは違って曲のリズムが難しく感じ、合格できるかどうかすごく不安になりました。その日の夜は、宿泊所で食事を済ませ、チームのメンバー全員が一つの部屋に集まり、講座で習ったことを復習しました。

21日は、試験のことで頭が一杯になって、曲を覚えることができないまま、実技試験が始まってしまいました。私はかけ声をかける役でもあったので、すごく緊張てしまい、頭の中が真っ白になり、ちゃんと打つことができませんでした。これは、もう、不合格だと自分の心の中で思っていました。でも、筆記が思っていたより簡単だったので、少し気分的には楽になりました。合格発表の時、全員合格と言われ、すごくほっとして、やっと笑顔になれました。本当に嬉しかったです。この講習会に参加して、他のチームのレベルの高さがよくわかりました。また、同じチームのメンバーともたくさん話し合える機会がもてて、とても良い体験ができたと思います。これからも、大好きな太鼓を続けて、もっと上手くなるように頑張りたいと思います。

「 笹川良一伝 世のため人のために」が出版

日本一の悪人と言われ、また世界一菩薩の人とともに言われた 笹川良一前会長（当財団の前身・全日本太鼓連盟会長）の生涯。

「 笹川良一伝 世のため人のために」が出版されましたのでお知らせいたします。

「 笹川良一伝 世のため人のために」
(著者) 黒瀬昇次郎
(発行) 致知出版社 1,800円



技術委員会、運営委員会を新事務所にて開催

● 第10回技術委員会を開催 ● ～2001年9月5日(水)・東京～

◆「公認指導員研修会不参加者の対応について」

日本太鼓資格認定規程に基づき実施した公認指導員更新研修会に45名の欠席者があった。この内、23名は更新辞退、残り22名については諸般の理由により出席できなかったとして、現在は資格を停止している。しかし、本人並びに所属支部より資格の復権について要望があるため、救済措置について審議した結果、やむを得ず欠席した更新希望者は、今年度の残り2回の全国講習会（島根2001年11月、愛知2002年2月）に併せて実施する特別更新研修会のいずれかに参加することにより資格の復権を認めるとした。

● 第14回運営委員会を開催 ● ～2001年9月6日(木)・東京～

◆「財団法人日本太鼓連盟北海道道央支部の開設について」

北海道道央支部（加盟団体12チーム、会員数483

名、支部長橋本光司氏）の開設について、審議の結果、承認されたため理事会に諮ることとする。なお、北海道内名称形式を統一した方が良いという意見があつたため、現在ある「東北海道支部」を「北海道〇〇支部」に名称を統一するよう、要請を行うこととした。

また、会費納入状況の確認を行い、正会員32チーム、特別会員2チーム、賛助会員6チームが未納であることが報告され、早期納入を要請することとなった。

◆「公認指導員研修会不参加者の対応について」

技術委員会での審議結果を説明し、特に意義無く承認された。

◆「2002年度事業計画について」

神奈川県支部の島田氏（代理出席）より、サッカーワールドカップに併せて横浜市で開催される第6回日本太鼓全国フェスティバルの会場並びに県庁の対応について説明があった。

公認指導員資格復権のお知らせ

次の条件を満たすことで復権できることになりました。

1. 特別更新研修会への参加を条件とする。

対象者は、研修会不参加者45名中、更新辞退者23名を除く、22名の更新希望者とする。

2. 特別更新研修会の内容

今年度実施する全国講習会に併せて行う次の特別更新研修会のいずれかに参加する。

①第12回全国講習会 2001年11月24日(土)・25日(日) 島根県大田市

②第13回全国講習会 2002年2月23日(土)・24日(日) 愛知県幡豆町

講習会・認定試験に対する心構えについて

技術委員会では、講習会・認定試験に参加する受講者の心構えが問題になっています。以下の点を留意し、講習会、認定試験に臨んで下さい。

○講習会

・講習会受講前の予習は勿論、前回受講した内容を十分に復習して講習会に臨むこと。例えば、5級技術認定員が4級基本講座を受講する際、前回（5級基本講座）の内容を忘れている受講者がいると、4級基本講座にも関わらず、再度5級基本講座の講義を行うことになる。これにより、大幅な時間を割くことになり、本人だけではなく、他の受講者にも多大な迷惑をかけることになる。

○公認指導員認定試験

・規程上、公認指導員の昇級は、全国講習会において基本講座助手を5回以上行い判断するとあるが、ただ回数をこなすだけではなく、回数を重ねるごとに明らかな技術、指導力等の向上が見られなければならない。今後は昇級の判断がつかない場合には、原則として受験者1名ずつが、支部講習会における基本講座講師として参加、2名以上の技術委員が立ち合いのもと、昇級の判断を行う。この結果については、技術、運営委員会に諮ることとする。

日本太鼓と学校教育—⑦

中学生を指導して

(財)日本太鼓連盟福島県支部幹事

しのは
標葉せんだん太鼓代表 横山 久勝

最近になり、多くの学校から「日本太鼓の授業をやりたいので講師をやって欲しい」との連絡が、数多く来るようになりました。これも2002年からの和楽器授業に取り組むための準備かなと思われます。

講師といつても、ただ身体だけ行って授業をやる訳にはいきません。80人を対象とすると太鼓40鼓の準備、それに太鼓の代わりに絨毯の切れ端を40枚、バチ80組、なかなか揃えるのが大変です。太鼓は、知り合いの団体から借り集め、バチは、ホームセンターから丸棒を買ってきて、定尺に切り落とし両端を丸めます。絨毯は、建設現場へ行って廃材をいただき30センチの丸に切り抜く、それだけでもなかなか大変な作業になります。

大体、どこの学校でも2クラス2時間で授業をやるところが多いようです。最初の1時間目は、40人が太鼓、そして残りの40人が絨毯の切れ端をバチで打って授業を進めます。

初めに、簡単に太鼓の歴史とか、太鼓は主にどんな時に使われてきたのか、そして今や和太鼓は日本の代表的な楽器であり、文化である事を説明します。「日本の文化は、礼に始まり、礼に終わる」改めて「大きな声で、挨拶をして始まりましょう」「それでは今日一日よろしくお願ひします」まず私が大きな声で挨拶します。しかし、なかなか80人分の大きな声は返ってきません。「今日は挨拶の練習をしにきた訳ではありませんが、もう一度大きな声で挨拶しましょう」「今日一日よろしくお願ひします」そうすると今度は、全員で「よろしくお願ひします」の大きな声が返ってきます。バチの持ち方、構え方などを簡単に説明し、実際自分で打ってみせます。次に目一杯の力で一回太鼓を打ってください。セーノ、「ドン」あまりに大きな音に子供たちもビックリします。今度は基本的なリズムを3種類やり、次に私が作った簡単な曲を、教え始めます。譜面を渡し、いろいろと説明を始めると、譜面を見ただけでアレルギーを起こす子供も出てきて、雰囲気が非常に悪くなっています。粘り強く何度も何度も繰り返し一緒に打ちます。その内に段々と子供たちの目つきが変わってきて食い入るように私の手を見ながら太鼓を打ち始め、「ヤメー」と言っても、声が聞こえな

いのか、やめたくないのか夢中になって打ち続けています。そんな時には1、2分自由にやらせておきます。鉦を打って、とりあえず静かにして、もう一度初めから曲を打たせます。曲といつても1分位の短い曲なのですが最後まで間違わずに演奏できた子供たちは、特に女の子は、隣同士手を取り合って飛び跳ね、男の子も多少興奮気味で顔を真っ赤にし、低く拳を握り締め「やったぞ」と雰囲気を漂わせます。一時間という短い時間なので、これぐらいしかできませんが、今度は絨毯組と交代し、構え方等を簡単にチェックし、前回と同じことをやりますが、前の授業は絨毯を叩きながら見学していたので、曲の方は比較的早く打てるようになります。その後何度か交代しながら授業を終え、「ありがとうございました」の挨拶で全ての授業を終えます。ジャージのズボンを腰骨の下まで下げた子が「先生、今度はいつ来てくれるんですか」「どこへ行けば太鼓を叩けるんですか」「高校受験が終わったら習いに行きます」いろんな声で子供たちに囲まれます。2時間前にはじめて逢った子供たちとはまったく別人のようです。

そんな時、何の取り柄もなかった私が、和太鼓と出会い、子供たちから仮にも先生と呼ばれ、子供たちに感動を与え、「和太鼓に会えて本当に良かった」と、心底思えるようになります。そして子供たちに何事かを教える喜び、感動、自分自身も子供たちから与えられる充実感、そんな思いで、太鼓を片付け帰路につきます。家に帰ってから今日の反省、そして次回の授業に向けての対策も心をときめかせながら、やることができます。

和太鼓の持つ無限の可能性と、すばらしさを、少しでも子供たちに、これから伝えていければ幸いと思っています。



(授業風景)

事務局だより

エジプト・中東太鼓公演中止について

国際交流基金の要請により、ゆふいん源流太鼓（大分県支部）を派遣し、9月9日から10月6日まで予定されていたエジプト、シリア、ヨルダン、レバノン、クウェート5カ国での太鼓公演が中止となりました。

ご承知のとおり、9月11日にアメリカのワシントン、ニューヨークへの同時テロ攻撃により、多くの死傷者と甚大な被害が出ました。この事件はイスラム組織による犯行が濃厚とされており、アメリカの報復制裁がいつ、どこの国に行われるか定かではなく、派遣メンバーの身の危険が考えられました。また、この事件を契機に飛行場の荷物検査が厳しくなり、太鼓の搬入、搬出が難しくなりました。さらに、各国の公演会場には1500、2000名の観客が集まるため、爆弾テロなどの標的になることも懸念されました。このため、最初の公演地であるシリアから、ゆふいん源流太鼓チーム6名、当財団職員1名は、9月14日（金）に急遽帰国いたしました。

今回は、残念な結果となってしまいましたが、今後、事件の収拾がついたあつきには、改めて日本太鼓の普及振興と国際親善のための一翼を担っていきたいと思っております。

今回の事件で亡くなられた方々に、心から哀悼の意を表します。

各団体ホームページURL、各地のイベント情報を募集

現在、当財団ホームページから、各団体ホームページへのリンクが可能です。リンク希望の団体はURLをお知らせ下さい。また、当財団ホームページに載せて欲しい各地のイベント情報もお知らせ下さい。

お問い合わせ先 e-mail (info@nippon-taiko.or.jp)

各地のたより

●2001年10月28日（日）

第4回日本太鼓ジュニアコンクール大分県予選・大分県太鼓連合コンサート2001（大分県挾間町）

＜主催：（財）日本太鼓連盟大分県支部、会場：はさま未来館＞

●2001年10月28日（日）

第6回郷土芸能交流会「和太鼓vsドラムス」（北海道夕張市）

＜主催：夕張市・夕張郷土芸能交流実行委員会、会場：ホテルシューパロー、ゆうばりスポーツセンター＞

●2001年11月4日（日）

第16回国民文化祭・ぐんま2001 全国太鼓フェスティバル（群馬県藤岡市）

＜主催：文化庁・群馬県・開発市町村・第16回国民文化祭実行委員会等、会場：群馬県みかほみらい館＞

●2001年11月11日（日）

尾瀬太鼓愛好会10周年記念演奏会

＜主催：尾瀬太鼓愛好会、会場：片平村文化センター＞

●2001年12月9日（日）

第4回日本太鼓ジュニアコンクール長崎県予選・長崎県太鼓連合コンサート（長崎県佐世保市）

＜主催：（財）日本太鼓連盟長崎県支部、会場：アルカス佐世保＞

●2002年1月20日（日）

相模龍王太鼓保存会創立25周年チャリティコンサート（神奈川県相模原市）

＜主催：相模龍王太鼓保存会創立25周年実行委員会、会場：相模原市民会館＞

●2002年2月10日（日）

第11回桜の祭典（埼玉県大里郡）

＜主催：（財）日本太鼓連盟埼玉県支部、会場：川本町コミュニティセンター＞